

令和 6 年度 ニシン漁獲物調査速報 (3)：厚田地区

1～3 月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

令和 7 年 2 月 12 日に石狩湾漁協厚田地区で水揚げされたニシンの漁獲物調査を実施しましたので、結果をお知らせします。石狩湾漁協厚田支所の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲状況

2 月 12 日の厚田地区では、「メス」、「オス特大」の銘柄がほとんどで、「オス大」はわずかと聞き取り結果でした。

2. 銘柄「メス」の結果

銘柄「メス」の標本 56 尾中、卵巣はやや不透明で綺麗な黄色か黄金色をした状態の卵巣（熟度 30）である個体が 17 尾（30%）で、卵粒が透明化し、生物測定中にダラダラと流出する個体（熟度 40）は 39 尾（70%）でした。不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣（熟度 22）の個体はみられませんでした。平均卵巣重量（最小～最大）は、106.5 g（46.5～154.3 g）でした。尾叉長 32～33 cm 台の個体が多く（図 1）、体重 360～509 g のかなり大型個体为中心となっていました（図 2）。

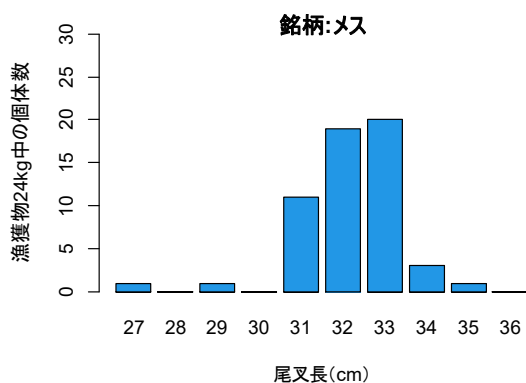


図 1 銘柄「メス」の尾叉長組成 (cm)

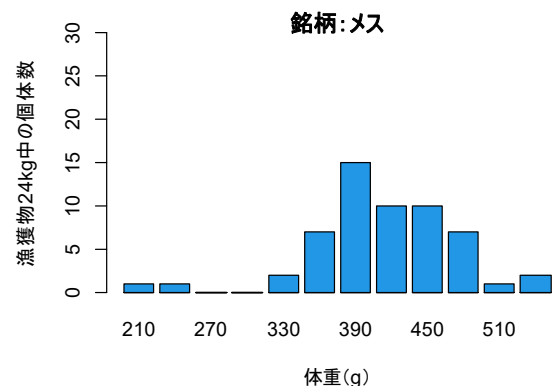


図 2 銘柄「メス」の体重 (g)

3. 銘柄「オス特大」の結果

銘柄「オス特大」の標本 37 尾は、精巣は白濁し肥大しているが、液状の精子は充満していない状態（熟度 20）の個体が 43 尾、精巣は白濁しているが放精中と思われ収縮し始めているもの（熟度 30）はみられませんでした。尾叉長は 32 cm 台のものが多く（図 3）、体重 360～449 g 台のものが多くみられました（図 4）。

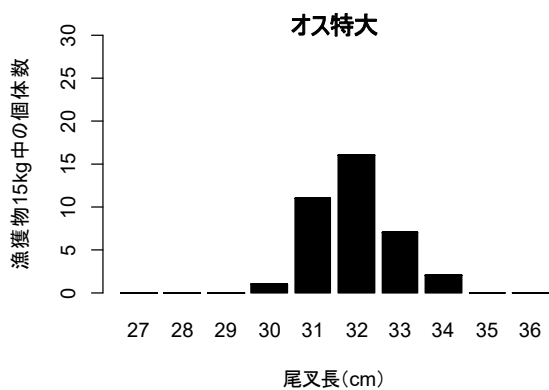


図 3 銘柄「オス特大」の尾叉長組成 (cm)

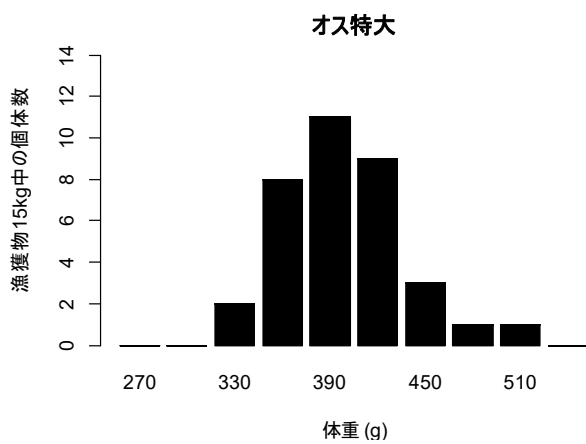


図 4 銘柄「オス特大」の体重組成 (g)

結果については以上です。次回は 2 月最終週あたりにサンプリングを予定しております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※メスの熟度について

- 10：未成魚
- 21：成魚だが卵巣は未発達でリボン状
- 22：成魚。卵粒は認められるが、白みがかっている
- 30：成魚。卵は成熟期に入り半透明だが水子ではない
- 40：放卵中。卵はすべて半透明で水子状態。
- 50：放卵後。